

清元院だより 第29号

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺



【頼る・任せる】

「夏の大掃除ボランティア」に集まってくださった方々です。お檀家さんが半分、檀家でない方が半分。幼児や小学生から大人まで、遠くは鳥取市から。こんな酷暑にありがたいことです。（昨年末は21名でした）

清元院では「頼る・任せる」ことを昨年あたりから意識するようになりました。住職やお寺で生活する者（寺族）が、お寺の管理や法要等の運営にがんばることは当然のことです。でもそこにお檀家さんやご縁の方の力が加われれば、もっと素晴らしく、持続可能なお寺になると思うのです。

お寺は住職のものではありません。頼り、お任せして皆さんと共に清元院を作り上げていきたいと願っております。

● 誌上法話⑰

● 以西ふるさとめぐり⑮

● 活動紹介⑬ 「生きるための終活」

● 声こえ

● イベント情報・お知らせ

発行…曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴二五六九年 令和8年8月1日

誌上法話 ⑪

えだはさか

ほつ

ま

そのね

やしの

「枝葉栄えんと欲せば 先づ其根を養うべし」



◆お盆は、日本人が先祖供養で一年で最も大切にしている期間です。

◆この言葉は、清元院で法事のお寺参りの時に皆さんで唱える『祖先供養の辞』という言葉の最初の一節です。

◆枝や葉っぱを伸ばそうと思うなら、まず根っこを大切に育てなさい…と説いてあります。土の中にあり目には見えない根っこに、水や肥しをしっかりと与え大きく根を広げることが、枝や葉っぱが成長する土台になるのだということです。

◆これを供養に置き換えると、枝があなた、葉っぱはあなたと縁を結んだ人やお子さんです。今を生きるあなた達が健やかに前を向いて伸びていこうと思うなら、その根っこで

あるお父さんお母さん、お祖父さんお祖母さん、そのまたご先祖様を大切にすることですよ…と言っているのです。亡くなった方もそうですが、ご健在な方も同様です。

◆亡くなったご先祖様は、根っこと同じように目には見えません。でもその方々がいらっしやらなかったら今の自分はここにいないのです。

◆現代はすさまじいスピードで物事が進み、慌しく時間が過ぎていきます。だからこそ「お盆」という全国一斉の供養強調期間だけでも、足を止め手を合わせ、見えない根っこの方々の方に思いを馳せ、感謝の心を伝えたいものです。

◆命をいただいた感謝の水、手を合わせる供養の肥しをたっぷりとお先祖様に注ぎましょう。供養の根が太きくしっかり張り、あなたの生きる道を支えてくださるはずですよ。

以西ふるさとめぐり⑮ 大父木地「木地神社」

【幽玄な立木の鳥居】

大父木地集落中ほどを右に曲がり、矢筈川にかかる橋を渡り、少し登ると「木地神社」が見えてくる。

社殿の正面の杉の大木を鳥居とし、注連縄（しめなわ）がかかっている。幽玄な佇まいに背筋が伸びる。

祭神は大山祇命（オオヤマツミノミコト）で山の総元締といえる自然神。『赤碕町史』によると、大父木地小椋本家の故・小椋重朗氏の7代前の先祖が建立し、木地師の祭神を祀った。明治維新の時、大父神社に合祀されたが、明治12年大父神社の摂社として復旧した。

平成17年、社殿が古くなったため、少し上の現在の場所に新築移転。その際、鳥居は作らず2本の杉の大木を鳥居とした。

「木地神社」の社名については、以西地区に「木地」が付く集落が2つあるが、「木地」が指す集落名は古くから大父木地のことである。山川木地は明治41年頃（約120年前）まで山川奥（やまごく）と呼ばれていたからだ。

山の総元締を祀る木地神社。その幽玄さをぜひ体感してみてください。



木地神社

活動紹介⑬ 第4回 生きるための終活 in 清元院 2026/5/31



第4回「生きるための終活」を5月31日(日)に開催しました。講師に釈徹宗先生(宗教学者・浄土真宗如来寺住職)においていただきました。県内外から50名の参加で、先生にお会いしたい一心でおいでになった方も多かったようです。

釈先生には、「いろんな宗教から見た老い」「仏教から見る老病死」の2度の講演をいただき、参加者は老病死を自分事として深く受け取っていただけようでした。

住職の私も「生きるための葬儀・供養・お墓」と題し、仏教は生きている人のためにあることをお話ししました。釈先生に見守られながらの講演は緊張で冷や汗が流れました。

60分のお弁当タイムでは、書院、庭、本堂と参加者それぞれにお気に入りの場所へ過ごされ、初対面の方同士でも縁がながる時間となりました。

「生きる」ことを深く考えることができた、熱く素晴らしい一日でした。

声こえ

◆講演の話はもちろんですが、会に参加して人とつながれたこと、つながっていることに気付くことができて感謝の気持ちでいっぱいです。

△生きるための終活参加者▽

◆親戚の葬儀に参列した際、母の葬儀は清元院さまで決めていました。葬儀が終わってから「心のこもったいい葬儀だったね」とたくさんの方に言っていたいただき母も喜んでいると思います。

△葬儀喪主・永代供養会員▽

◆これまでの人生、たくさんの方に支えられてきました。少しでも恩返しできる人生を送りたいです。今日のワークショップに参加してその思いが一層強くなりました。

△死の体験旅行参加者▽

Events&News

清元院 de
BONI マルシェ

今年もやります！
■8月13・14日
■開始9時
■終了13日15時
14日14時

【金魚・コイすくい】

・本堂前
・一人3匹まで



【出店一覧】

- ジラソーレカフェ
・各種クレープ&ドリンク
- ウツドベツカー
・スパゲティナポリタン&かき氷
- ワク珈琲
・コーヒー&ドリンク
- おむすび屋ひとむすび
・各種おむすび
- チームTTB
・ワンコイン整体 お寺でカイロプラクティック
- rosso
・ハンドマッサージ
・肩もみ&足つぼ
- パティスリーミホ
・焼き菓子
- みんなもここになる似顔絵屋
- もえとこうた・占い
- 以西ポロシャツ販売
・本堂ろう下



まきまき教室

■毎月開催

■8月は30日(木)

13時〜15時30分

■会場 清元院

■参加費 大人2000円

高校生以下800円

■講師 まきまきアーティスト 川和真紀さん

※小学生以下は保護者同伴

アクセサリーからオブジェまで、布を巻き巻きして何でも作ってみましょう。先生が丁寧に教えてくださいます。

■申し込み(3日前まで)

・インスタグラムの

DMで(川和まで)

・または清元院へ



お地藏様作り教室

大人気の催しです。二部に分けて本堂でゆったり行います。

■9月21日(日)

■午前の部 9時半〜

■午後の部 13時半〜

■各20名限定

■参加費

一人2500円

※申し込みはお早めに

永代供養合同法要

・清元院で永代供養の方々に、温かな供養の気持ちを伝える法要です。

■10月10日(土)

■14時

※詳細は永代供養会員の皆様に後日ご案内します。

※詳細は永代供養会員の皆様に後日ご案内します。



死の体験旅行

「あなたにとって本当に大切なものは何か」を感じたり考えたりするワークショップです。死を仮想体験することで生をクローズアップし、本当の自分と向き合う心豊かな時間です。

■10月18日(日)

■12月5日(土)

■14〜16時

■参加費 3千円



禅の集い

坐禅と法話で心と体を調えます

■10月16日(金)

■13時半〜16時半

■会場…大山町 退休寺

■参加費 無料

■申し込みは清元院へ

◆十二月までの行事

■8月14日15時

初盆合同法要

※要申し込み

■8月15日10時半

戦没者慰霊祭

※要申し込み

■12月31日

〜1月1日

除夜の鐘

& 新年祈禱

◆月例行事

■写経写仏の会

■第1日曜 午後3時

(注)8月は休会

■坐禅会

■第3水曜

■午後7時30分

(注)8月は休会

■お寺ヨガ・

■第4水曜

■午後7時30分

※期日は変更になることがあります。



清元院

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57

TEL 090-4923-8768 fax 0858-55-7064

メール inotera1@gmail.com



公式 HP



Instagram



公式 LINE



Facebook